

FREE

ご自由にお持ちください。

No.851
2024 August

8

岐阜県の森林・林業

も り
森林のたより



News of the forest



人と森をつなぐ! 『はだしの広場』

(morinos)



●詳細は11ページをご覧ください



編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会

E-mail sanrinag@quartz.ocn.ne.jp

<http://www.g-forestry.or.jp> (公社)岐阜県山林協会の情報をご覧ください。

開催日	行事名等	内容等	場 所
			申込(問合せ)先/TEL
8月31日(土)	狩猟免許試験 (網猟、わな猟)	<ul style="list-style-type: none"> ●狩猟免許取得のための試験を実施します。 ●時間：9：30～17：00 ●申込：8/2～8/16 ※事前に申請書類等の提出が必要です。詳しくは右記にお問い合わせください。	岐阜大学全学共通教育講義棟 各地域を所管する県事務所等、または環境生活政策課 TEL:058-272-8231
9月30日(月) 締切	令和7年用国土緑化・育樹運動の標語募集	令和7年用の国土緑化・育樹運動のポスターなどで使用する標語を募集します。	公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 TEL：058-273-7577



イベントカレンダー(一般向け).....	2
「山の目撃エスタギふ2024」を開催.....	3
シリーズ「役立っています！」「森林環境譲与税」3.....	4
令和5年度「治山・林道写真コンクール」.....	4
森林環境譲与税のお悩み相談は、地域森林管理支援センター(7).....	5
『地域循環共生圏』の構築に向けた取り組みを支援します.....	6
シリーズ「森林・環境税」で「緑豊かな清流の国」きふづくり(4).....	7
山の歳時記228 キハダⅡ.....	8
森林と人を活かす知恵(139).....	9
一般社団法人「技の環」発足.....	9
文化財や伝統工芸の原材料調達をサポートします.....	10
ぎふ木遊館通信.....	11
morinos 出前体験!!.....	12
「ぎふの木使います！」(8).....	13
研究コーナー.....	14
下刈りを省略したヒノキ造林地の混交林化を考える.....	15
木の香るぎふの施設(137)郡上市立大和小学校 普通教室棟.....	16
木の香るぎふの施設(138)いわのだこともの森(岩野田保育園).....	17
国有林の現場から(94).....	18
捨てないで良心まで！今年も国有林クリーン活動実施.....	19
100年の森林づくり計画(森林配置計画)について.....	20
普及コーナー 西濃地域における林業普及活動.....	21
スマート林業通信(42).....	22
林業者向けお知らせ.....	22
市況.....	22
末梢.....	22



目次 Contents

表紙 ●「はだしの広場」は人と森が繋がるきっかけ。美濃市にあるmorinos(モリノス)ではこの夏も多くの体験プログラムを実施します。詳しくはホームページをご覧ください。

「山の日フェスタぎふ2024」を開催

県では、8月の「ぎふの山に親しむ月間」に合わせて、ぎふの山や自然を知り、木と親しむ「山の日フェスタぎふ2024」を開催します。

開催日 令和6年8月3日(土)

会場 カラフルタウン岐阜(カラフルパーク)

主催 岐阜県、(公社)岐阜県山林協会、(公社)岐阜県緑化推進委員会、岐阜県森林組合連合会、岐阜県木材協同組合連合会

共催 恵みの森づくりコンソーシアム

**開催内容
(予定)**

●山の日フェスタぎふ2024イベント

- 「森林・林業関係団体」と「恵みの森づくりコンソーシアム」によるワークショップ等のブース出展
- 移動型ぎふ木遊館(ぎふの木のおもちゃ体験)の開催
- クイズラリーの開催



●ぎふ木育WEEKイベント

- 3会場スタンプラリー(8月1日(木)~9月30日(月))

次の3会場のうち、2会場スタンプを押して応募していただいた先着300名(予定)の方にはプレゼントをご用意しています。(台紙は、各会場で配布します。)

会場1:山の日フェスタぎふ2024イベント会場(カラフルタウン岐阜)

※イベント当日(8月3日)のみ開催します。

会場2:ぎふ木遊館

※休館日は、台紙の配布とスタンプラリーは行っていません。

会場3:森林総合教育センター(morinos)

※休館日は、台紙の配布とスタンプラリーは行っていません。

同時開催 ●ぎふ木遊館:サマーフェスタ(8月3日(土))

- ぎふ木遊館は予約制(有料)です。
右の二次元コードから予約してください。

ぎふ木遊館



●morinos: ミニプログラム(8月3日(土))

- 利用料は無料です。(費用が必要なプログラムもあります。)
詳細は右の二次元コードをご覧ください。



morinos



役立っています!“森林環境譲与税” ③

手入れの行き届かない森林の整備や担い手の育成などの取組みを進めるための財源として、国から県や市町村へ森林環境譲与税が配分されています。このコーナーでは、県内市町村による森林環境譲与税の活用事例について連載で紹介いたします。

瑞穂市一市内小学校の木質化による木材利用の促進—

取組みの背景

森林がない瑞穂市では、学校への木製机・椅子の導入をとおして木材利用の拡大を図るとともに、児童が木の香りや手触りで木材のよさを感じることで、木質化の意義を伝える環境づくりに取り組んでいます。木材を利用することにより、上流域の健全で豊かな森林づくりに貢献するとともに、ふるさと岐阜県に誇りと愛着を持つ人材の育成につなげることを目指しています。

事業内容

令和5年度に国産木材を使用した机・椅子を市内小学校1校の図工室に導入しました。

取組みの効果

親しみやすく温かみのある木製の机・椅子を調達し、児童が木の香りやぬくもりを感じることで、ストレスが緩和され、よりよい学習環境が確保されます。また、木そのものや森林への興味に広がることが期待できます。



お問い合わせ

森林環境譲与税について: 県森林活用推進課 森林吸収源対策室 森林吸収源対策係
瑞穂市の取組みについて: 瑞穂市役所 教育委員会事務局 教育総務課

TEL:058-272-8821
TEL:058-327-2115



令和5年度

治山・林道写真コンクール



県では、治山事業、林道事業の重要性を県民の皆さんに広く紹介し、事業に対する理解と関心を深めていただくため、毎年、写真コンクールを実施しています。

令和5年度は、治山部門33件、林道部門26件の応募の中から、それぞれ最優秀作品を表彰しました。

●治山部門 最優秀賞(総合利用・PR部門)



●林道部門 最優秀賞(森林施業部門)



区分	部門	表彰区分	作品名	
治山	一般部門	優秀	都市部に溶け込む治山	
		入選	谷止工完成	
		入選	集落と小那比茶を守る	
	木材・木製品使用部門	入選	県産材から森林の復旧へ	
		総合利用・PR部門	最優秀	「小坂の暮らしを守り抜く治山ダム」について学ぶ
			優秀	治山を知ってもらうための取り組み
入選	治山を知ってもらう!			
林道	森林施業部門	入選	濃尾平野に広がる夜景と中秋の名月	
		最優秀	森林施業に活用される林道	
		優秀	定性間伐された木材の搬出に活用される林道	
		優秀	木材生産を支える林道	
		優秀	WRCジャパン 恵南林道ステージ	
	地域振興部門	優秀	WRCジャパン 恵南林道ステージ	

森林環境譲与税のお悩み相談は、 地域森林管理支援センターへ

第7弾

未整備森林の解消は境界の明確化の先にアリ！ その推進に必要なのは…

地域森林管理支援センター 日比野 基宏

森林経営管理制度開始から5年が経過し、未整備森林の解消に向けた取組みが進んでいます。令和5年度までの県内の意向調査面積の累計は12,000ha以上となり、一定の進捗が見られます。しかし、実際に森林施業を実施しようとすると、森林の境界が不明で事業化が難しいという課題が見えてきました。

土地の境界に関する調査は地籍調査で実施されますが、登記まで行う事業であり多くの確認作業、高い精度の測量など時間と手間が必要です。岐阜県は地籍調査が遅れており、特に山村部は後回しとなっています。

それに対し、森林施業を実施するのに森林の境界が不明な場合は、準備作業として境界の確認と簡易な測量である「森林の境界明確化」を行います。平成21年度から林野庁が支援しており、岐阜県では民有人工林の12%で実施されています。しかし、地形条件の悪い箇所や森林が細分化している、又は境界情報が得られにくい箇所が残り、それらが未整備森林となっているともいえます。

このような中で、地域森林管理支援センターでは、未整備森林の解消に向け、森林の境界明確化に関する調査検討に取り組みました。

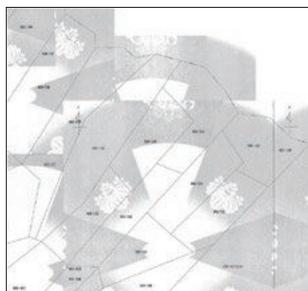
市町村が森林所有者に行う意向調査における、森林の境界に関する設問の結果を分類しました。多くの方が森林を所有していることを自覚しているものの、境界が分かる方は2割にとどまります。境界をはっきりさせたい方は8割以上と高いことが分かりましたが、説明会や境界立会への参加可能な方は半分以下と、所有者の協力が得られにくい中で、境界確定は市町村に委任でも良いという回答もありました。

一方、市町村や境界明確化を行う事業者（森林組合や測量会社等）が一致して認識する課題は、森林の境界が分かる人が減っている、相続登記が進んでいない、登記情報と森林簿が合わないなど森林所有者情報や現地の確認調整に関する内容でした。さらに事業者側では、業務の採算性が低い、工期が短い、測量調査の担い手が不足しているといった事業実施にかかる内容もありました。

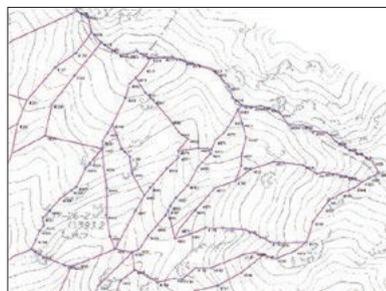
森林所有者との調整では、市町村は現地立会への協力や市町村委任を求めため、自治会など施業履歴、森林境界に精通した方との連携が必要です。また、リモートセンシング技術を活用して森林所有者の現地確認を求めない手法も実証されていますが、現地に杭が設置されておらず森林施業を行う場所が特定できないことや、まだまだ現地立会を望む声も多いなど、現場ならではの課題も明らかになっており、今後も調査研究が必要です。

事業者の採算性に課題があるのことに對しては、適正な事業費で発注することにより、境界明確化を行う事業者の増加を促進する必要があります。森林経営管理制度の対象となる未整備森林は、道から遠く、森林の境界が複雑で、傾斜が急な条件が不利な場所が一般的です。そこで地籍調査で用いる傾斜補正係数や、一筆地平均面積係数を調整し、現場条件に合った適正価格で発注するよう発注者に提案しているところです。

森林の境界明確化は、小流域を単位とする林班全体で行うことが一般的ですが、意向調査の結果で対象地が飛び地の多い区域となることも検討されています。今後も支援センターでは、作業実態の把握に努めるとともに、未整備森林の解消に向けた課題解決に取り組んでいきます。



公園



境界明確化調査結果



測量の様子

※この調査検討は（株）OKB総研様に分析・提案内容についての妥当性や、構成について監修を頂きました。

森林管理制度や
森林環境譲与税に関する
お悩み相談は？

「地域森林管理支援センター」まで

TEL:058-201-5013 FAX:058-278-4398 E-mail: f-shien@g-moriren.or.jp

〒500-8356 岐阜市六条江東2丁目5番6号 岐阜県森林組合連合会内

『地域循環共生圏』の構築に向けた取組みを支援します

岐阜県は「飛山濃水」と呼ばれるように、美しく豊かな自然に恵まれています。

各地域では、その自然を活かし、東濃ひのきや長良杉などの林業、飛騨牛や長良川のアユなどの農畜水産業が営まれ、更には、飛騨の家具や関の刃物、美濃和紙、美濃焼など個性的な伝統産業が生まれ、先人たちの手で守り、伝えられてきました。

このような地域の資源を地域の皆さんが認識し、最大限活用していくことが地域の発展には欠かせませんが、今後は、地域同士がそれぞれの特性を理解し、補完し、支え合っていくことも重要となっており、国は「第5次環境基本計画」において『地域循環共生圏』の概念を提唱しました。

県では、この『地域循環共生圏』の構築に向け、地域が取り組む普及啓発や事業計画の立案などの取組みを支援しています。

【岐阜県地域循環共生圏促進事業 概要】

①対象事業

- (1) 地域循環共生圏構想を知り、広めるための事業(先進地視察、シンポジウム開催など)
- (2) 地域循環共生圏に関わる主体(市町村、企業、団体等)を増やしネットワークを構築するための事業(セミナー開催、広報活動など)
- (3) 地域循環共生圏について戦略を立てるための事業(事業計画等の作成、地域の魅力を掘り起こす事業など)
※地域循環共生圏を実践する(または、実践する予定の)地域や団体等として、Platform Cloverへの登録を目指す事業であること。

②事業主体

市町村、団体、法人

③補助率等

補助率 10 / 10以内 [1事業あたり 下限額:300千円、上限額:1,000千円]



令和5年度 採択事業



地域循環共生圏に関わる主体を増やしネットワークを構築するための事業(輪之内町)



里・山・川の保全・活用を通じた地域おこし(地域循環共生圏促進)準備事業(特定非営利活動法人岐阜環境カウンセラー協議会)



持続可能な山県「ローカルSDGs地域循環共生圏」推進事業(一般社団法人オルトス山県)

地域循環共生圏 = 自立・分散型の持続可能な社会

地域の主体性: オーナーシップ 地域内外との協働: パートナリシップ 環境・社会・経済課題の同時解決



出典: 環境省HP「環境省ローカルSDGs 地域循環共生圏」

地域循環共生圏とは？

出典: 環境省「第5次環境基本計画」から抜粋

各地域がその特性を活かした強みを発揮し、地域ごとに異なる資源が循環する自立・分散型の社会を形成しつつ、それぞれの地域の特性に応じて近隣地域等と共生・対流し、より広域的なネットワーク(自然的なつながり(森・里・川・海の連関)や経済的つながり(人、資金等))を構築していくことで、新たなバリューチェーンを生み出し、地域資源を補完し支え合いながら農山漁村も都市も活かす「地域循環共生圏」を創造していくことを目指す。

『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

4

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取組みを行っています。こうした取組みの内容について連載で紹介します。

生物多様性の保全・再生の普及啓発

みなさんは「生物多様性」という言葉を知っていますか？聞いたことはあるけど、意味はよくわからないという方、また、「生物多様性の保全」が重要と聞くけど、どうして重要なかわからない方も多いと思います。

そこで、県では「生物多様性とは何か」や「生物多様性の保全の重要性」を知ってもらうため、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用して、普及啓発を行っています。

シンポジウム

県として特に知って頂きたいこと、生物多様性で話題になっていることをテーマに年1回開催しています。

令和4年度開催

テーマ「神の鳥ライチョウの危機と保全」

岐阜の県鳥「ライチョウ」を中心に多様な生物の保全について学んで頂きました。



令和5年度開催

テーマ「水辺に潜む外来種」

条件付特定外来生物である「アメリカザリガニ」を例に外来種問題について学んで頂きました。



出前講座

傷を負った希少な鳥類を救護する県野生鳥獣リハビリセンターにおける野生復帰への取り組みを通じて、生物多様性の保全が重要であることを伝えます。



飼育展示

国の天然記念物である「イタセンバラ」の保護増殖に取り組む県水産研究所。イタセンバラを活用した地域での飼育展示を通して、生物多様性への関心を高める活動をしています。



県では、引き続き「生物多様性の保全」に関する情報発信を行っていきますので、興味のある方はシンポジウム等に是非、ご参加ください！！

生物多様性に関する情報は、公式LINEでも発信中です

二次元バーコードで登録





文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

初夏の郡上市で、丸く緑色の果実をつけたキハダを見つけました。

ミカン科キハダ属のキハダは、直径1m以上に達する雌雄異株の落葉高木で、樹皮は淡褐色の厚いコルク質が発達し、寒い地方ほど厚くなります。葉は小葉が6対ほどついた奇数羽状複葉で、これが枝に対生します。

広葉樹の枝の伸び方は2つに大別されますが、キハダの枝の伸び

方は仮軸分枝と呼ばれる伸び方です。ちなみにもう1つの枝の伸び方は単軸分枝といい、主軸の頂点にある頂芽が下方にある側芽とともに伸長し、主軸先端が伸長し続けます。これに対して仮軸分枝は、主軸の先端の頂芽が夏ごろに脱落し、翌年には側芽が主軸のように伸長するもので、仮軸分枝の枝は毎年弓なりになって、曲がりながら伸長するのです。

キハダは5〜6月には、黄緑色の小花を多数つけた円錐花序を枝先に咲かせます。雌株にできる果実は球形で、最初は緑色をしていきますが熟すと黄色〜黒色に変化します。種子は精油を多く含むため、鳥が食べた糞が自動車に付着すると塗膜に影響が出ることもあります。

実生個体は少し湿気のある肥沃地で良く生育、深根性で陽樹であるため、倒木跡地などの孔状裸地などで上層林冠をつくって小群落

を形成することもあります。

木材は光沢があつて木理が美しく、加工しやすいため、家具材や床の間材、丸盆や鉢、菓子器等に利用しました。特に、工芸分野では女桑と呼んでクワ材の代用にしたり、湿気に強い特性からクリ材の代用品にされたりしました。

黄色い内樹皮を乾燥させた黄檗（黄柏）は『日本薬局方』にも掲載される重要な薬木で、御嶽山周辺で生産される「御百草」、奈良県吉野の「陀羅尼助」、鳥取県山陰の「練熊」などは、胃腸や腹痛の妙薬です。

またキハダは打ち身、神経痛、リユーマチなどの外用薬としても利用されました。

上記の胃腸薬のうち、陀羅尼助（だらにすけ）は本来、薬としてというより僧侶が陀羅尼（不動尊秘密陀羅尼経や大悲心陀羅尼）という経を唱えている間に、睡魔を予防す

るために口に含んだ苦味薬であつたそうです。

余談ですが、京都には「京阪黄檗駅」があり、京都宇治には中国、明代末の禅宗の高僧隠元禪師（1592〜1673年）が開山した「黄檗宗大本山萬福寺」があります。このお寺の僧侶たちも陀羅尼助を口に含んだなら面白いと感じるので。



キハダ果実：雌雄異株であるため雌株のみに果実がつく

一般社団法人「技の環」発足 文化財や伝統工芸の 原材料調達をサポートします

岐阜県立森林文化アカデミー 教授 ● 久津輪 雅



今年2月、私は「技の環（ぎのわ）」という名前の一般社団法人を立ち上げ、代表理事に就任しました。森林文化アカデミーの教員を務めながら二足の草鞋を履いています（勤務時間外や休日活動）。この団体のキャッチフレーズは「伝統の技を支え、人をつなぎ、環をつくる」。文化財の保存修理や伝統工芸品の製作などに携わる人が抱える3つの課題、「人（後継者）」「原材料」「道具」、これらの解決を支援するための組織です。県庁の文化伝承課からの業務委託を受けています。

スタッフは美濃窓口と飛騨窓口に2人ずつ。美濃には私と、森林文化アカデミー卒業生。飛騨には元岐阜県工業技術研究所長と、工芸コーディネーターとして活動する人です。

この団体を立ち上げることにしたのは理由があります。まず、私自身が10年以上前から伝統工芸の材料収穫の支援をしてきたこと。最初は、長良川鶺鴒飼で鶺鴒を運ぶのに使う「鶺鴒籠」の材料でした。一般的な竹籠にはマダケが使

われますが、鶺鴒用具には水切れが良く丈夫なハチクが使われます。竹林はそこらじゅうで繁殖しすぎて困るほどですが、実は工芸に使う良質の竹となるとそう簡単ではないのです。節と節の間が長く、ほどよく間引きされて表皮に傷が少ないなど、さまざまな条件を満たす必要があります。アカデミーの卒業生が鶺鴒籠を作る竹細工職人になったことから、アカデミーでも授業で竹林整備や収穫を行っています。

次に、和傘の傘骨を束ねる「傘口クロ」と呼ばれる部品に使われるエゴノキ。細かい切込みを入れても折れない粘り強さと、ほどよい硬さを併せ持ちます。これも、材料を収穫する林業家が亡くなったことをきっかけにアカデミーを中心にプロジェクトを立ち上げ、その後は和傘職人の人たちとともに毎年授業で収穫しています。このプロジェクトは開始から12年が経ち、今では材料の収穫から、苗の育成、植樹へと活動が広がってきました。

に編んで留めるのに使います。近年、樹皮を採る人がいなくなり、遠く秋田県や奈良県で購入していると聞き、県内で調達できる所を探しました。このように、文化財や伝統工芸に使われる材料にはその土地で育つ森林資源が多く使われますが、森林の利用の仕方が変わったために材料を供給する仕組みが失われていきます。それをつなぎ直す仕組みを作るのが団体設立の目的です。

また、行政の縦割りをつなぐ必要性を感じたことも理由の一つです。岐阜県庁で言えば、文化財は文化伝承課、伝統工芸品は地域産業課、森林資源は林政課となります。国で言えば、経産省、文化庁、林野庁です。こうした伝統文化を次の世代へ伝えていくためにはこれらの部署で情報交換や連携が必要ですが、その仕組みがありませんでした。そこでハブ役を担うために民間団体を作ったのです。さらに岐阜県の伝統文化を支えるためには、県外の原材料生産者や道具製作者を支える必要もあります。たとえば美濃和紙に使われる楮、関の日本刀の鍛錬に使われる松炭、飛騨の一位一刀彫に使われる様々な彫刻刀など。これらのほとんどは県外から調達しています。県境を超えて調査や支援の活動をするには行政が直営で行うのは難しく、民間が行った方が合理的です。

技の環ではウェブサイトを立ち上げ、課題を抱える職人がいつでも相談を寄せられるようにしています。そして私たちも相談が来るのを待つのではなく、積極的に現場へ出かけて課題を聞き取り、対応できることから取り組んでいます。みなさんの周りで伝統技術の継承に課題を抱えている人がいたら、ぜひ技の環をご紹介ください。



技の環のウェブサイト <https://ginowa.org/>



ぎふ木遊館通信



太平洋工業（株）と連携したぎふ木育体験イベントを実施しました

ぎふ木遊館では、ぎふ木育に賛同いただいた企業と連携し、さまざまなイベントや研修を実施しています。

今回は、6月1日（土）に実施した、太平洋工業（株）の社員とそのご家族を対象とした「ぎふ木育体験」の様子を紹介します。

太平洋工業（株）は、生物多様性保全に取り組んでおり、大垣市上石津町にある企業の森「太平洋里山の森」において植林活動や森林保全活動を継続的に実施しています。その活動につなげるため、令和5年度から当館で木に触れて森に親しむ「ぎふ木育体験」を実施しており、今回はその2回目のイベントとなりました。

当日は、約60名の方が参加され、木育ひろばにて大型木製遊具や木のおもちゃを使って親子で遊んでいただきました。また、希望者は木工室で木育メニュー「稚あゆの冒険」を体験しました。くるまだち木工室の草野直美さんから長良川の鮎の一生のお話を聞いた後、同じ長良川流域で育った長良杉でアユの置物を作りました。また、参加した子ども全員に「ぎふ木育クイズラリー」にチャレンジしていただき、市町村の木やおもちゃに使われている木の種類等について学んでいただきました。

参加者の皆さまには、当館での体験を胸に、次は企業の森での森林保全活動に参加し、森林についての学びや経験をさらに深めていただけたらと思います。



木育ひろばでの遊び体験



木育メニュー「稚あゆの冒険」



ぎふ木育クイズラリー

入館者が15万人を達成しました！

6月25日（火）にぎふ木遊館の入館者が15万人を達成し、記念セレモニーを開催しました。

記念すべき15万人目の入館者は、岐阜市在住の大屋敷様ご家族で、久松一男林政部長から認定証と記念品の「つみぼぼ」という木のおもちゃが贈呈されました。また、当日入館されたすべての子どもたちにも記念品をプレゼントしました。

セレモニーでは、大屋敷様の手でくす玉が割られ、入館者の皆さまには大きな拍手でお祝いしていただき、館内はとても温かい雰囲気になりました。

これまで当館にお越しいただいた皆さまには感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、ぎふ木遊館をよろしく願いいたします。



あすはちゃんと一緒に記念撮影



プレゼントを受け取る入館者

ぎふ木遊館公式Instagramのご紹介

ぎふ木遊館で行われる木育プログラムやイベント情報、館内の様子や木のおもちゃの話等を公式Instagramにて発信しております！

まだ来館したことがない方も当館の様子がわかりますので、ぜひチェックして、フォローをお願いします。



GIFUMOKUYUKAN0717



やがてみんなの森になる

morinos

出前体験!!

岐阜県立森林文化アカデミー・森林総合教育センター（愛称morinos）で実施している出前体験についてご紹介します！

<森の出前体験 ~うれしの東保育園~>

「近くの森での遊び方を知りたい」、「森はないけれども、自然遊びをしたい」などの想いを持った園や学校にmorinosのスタッフが邪魔して実施する森の出前体験。今回ご紹介するのは、岐南町にあるうれしの東保育園で実施した森の出前体験です。

6月11日は、morino de van（森の出番）と名付けた車で、枝、葉、実、丸太などの自然素材や、ロープ、のこぎり、金づちといった道具を運び入れ、うれしの東保育園の園庭をミニmorinosにしちゃいました。morinosから持ち込んだ資材の他にも、園にあるけれどイベントでしか使っていないネットやロープ、とび箱をつなげて遊具にするなど、保育者、保護者の方にもお手伝いいただき、たくさんの遊びが展開されました。



morinos名物(?) 自由な工作



落ちたら負けのじゃんけん勝負



葉っぱや花を使ってぬりえ



「やってみる」と焚き火に挑戦する子ども



大人も子どもも一緒にどろんこに



木の板1枚でも遊びが生まれる

特別な素材や立派な森がなくても、あるもので工夫して自然も自由な遊びも楽しめることを体感してもらえたのではないのでしょうか。先生とのふり返りの中で、「いつもの園庭・遊び道具にちょっとプラスするだけでこんなにも遊びが広がるなんて!」、「日常の保育にも“遊び担当の人”って役割ができれば、保育者自身が今日みたいに思い切り遊べますね」等の感想をいただきました。

森の出前体験は、「こんな方法があるんだ」、「こうやって遊べばいいんだ」といった気づきの場です。これをきっかけにして、先生方が、今後はこうしたいということを考え、森や自然を日常の保育にどんどん活用するようになると嬉しいです。

morinos HPでは、こうしたプログラムから日常風景まで、様々な活動報告を行っています。興味を持ってくださった方は、morinosのHP、YouTube動画をご覧ください。

ホームページ <https://morinos.net>

開館時間 10:00~16:00

YouTube 検索「morinosチャンネル」

定休日 毎週火・水曜日



morinosHP



YouTube
「morinosチャンネル」



“ぎふの木”使います!

— 岐阜県木の国・山の国県産材利用促進協定締結者のご紹介 —



県では、「岐阜県木の国・山の国県産材利用促進条例」に基づき、事業者と協定を締結し、県産材の利用を促進する構想の実現に向けて連携して取り組むことで、脱炭素社会の実現や循環型社会の形成、地域経済の活性化を目指しています。

令和6年2月28日に第2回目となる協定締結式を執り行い、11事業者（10協定）と協定を締結しました。その各協定締結者をご紹介します。

株式会社S I プラス（愛知県岩倉市）

<これまでの取組み内容>

建築士と緊密に協力し、岐阜県産材を設計に取り入れる具体的な方法を検討しています。

岐阜県産材の特性や、利点を最大限に活かすため、図面の見直しや、調整を行っています。

建築士との打ち合わせを通じて岐阜県産材の使用部位や方法についても詳細に検討をしています。



<今後の取組み内容>

岐阜県産材を使用した構造及び美観的な利点を最大限に活かすための方法に焦点を当てています。

また、地域経済への貢献を目指し、岐阜県産材の使用を推進していきます。

さらに、内装材や家具などにも岐阜県産材を使用することで、建物全体の温みや自然の美しさを引き出すとともに、木材の断熱性を活かした、エネルギー効率の高い建物になる様取り組んでいきます。



<事業者概要>

○所在地

本社：愛知県岩倉市大山寺町岩塚6番地

○主な業務内容

介護施設運営（住宅型有料老人ホーム、デイサービス、居宅介護支援事業所、訪問介護事業所）

○ホームページURL

<http://kgarten.com/company/>



各協定締結者には、県産材の活用について積極的な普及啓発に努めていただきます。



下刈りを省略したヒノキ造林地の混交林化を考える

森林研究所 ● 渡邊 仁志

多様な樹種で構成された森林が指向され、針葉樹人工林を広葉樹との混交林に誘導する手法の解明が求められています。一方、人工林造成に目を向けると、下刈りは一斉林の造成に不可欠な作業である反面、従事者の肉体的負担や所有者の経済的負担が大きいいため、それらの削減が重要です。

通常の下刈り作業では、造林地内に侵入した木本類(更新木)は、植栽木の成長を阻害する雑草木として刈り払いますが、下刈りの方法次第では植栽木と高木性広葉樹が混交する林型に誘導できるかもしれません。

そこで、下刈りの省略が木本類の更新、ひいては植栽木と高木性広葉樹との混交林化に寄与するかを明らかにするため、一度も下刈りをしなかった場合の植栽木と更新木(雑草木にあらず)の動態を調査しました。

林分の評価

郡上市八幡町にある約五〇年生のヒノキ人工林を皆伐した三代目再造林地(標高四五〇m、傾斜35〜40度)に、ヒノキ二年生コンテナ苗をヘク

混交林化の可能性は？

タールあたり一五〇〇本で植栽し、下刈りを年一回ずつ四年間行なった「実施区」と、まったく行わなかった「省略区」の状態を一〇年間比較しました(防鹿柵は設置済み)。皆伐直後に調査地内に存在していた高木性広葉樹の稚樹はわずかで、また、種子源になるような広葉樹林は近傍にありませんでした。

まず、実施区ではヒノキの胸高断面積合計が大きくなり、一斉人工林がみごとに成立しました(図1、図2b)。成林に対する下刈り作業の効果と確実性を実感しました。

一方、省略区では更新木の種数や量が多くなりました(図1)。下刈りを完全に省略してもヒノキの樹高成長は減衰しなかったため、更新木はヒノキの下木になり、垂直方向の階層化が進みました(図2a)。この状態は一見、混交林のようにみえますが、更新木の構成種は主に低木種(シロモジやキイチゴ類)と小高木種(ヒサカキ、シキミ)で、混交林化の立役者である高木種(アカメガシワ、タムシバ)はごくわずかしかなかった。

省略区の幹数は、小高木種、低木種、高木種、ヒノキの順で、胸高断面積合計は、ヒノキ、低木種、小高木種、高木種の順で、値が小さくなっています(図1)。高木種に着目すると、高木種の樹高(平均286cm)は、ヒノキ(同611cm)より低く、小高木種や低木種(同244cm、327cm)と同じ高さの階層にあり、それらから強い被圧を受けていることが分かりました。高木種は侵入数が少なかったうえに、初期段階で本数が減少していました。本調査地で見られた高木種にはアカメガシワなどの先駆性種が多かったことから、他種との競争や被圧によって衰退し、幹本数や胸高断面積合計を減らしていったと考えられます。

本調査地は種子源の不在などの理由により、広葉樹が天然更新するハードルは高いだろうと予想されます。このような場合、下刈りの省略によって針広混交林を短期間に造成するのは困難です。

おわりに

本調査地の省略区は、ヒノキ人工林としても成林しておらず中途半端な状態でした(造林地としての評価は、本誌805号をご覧ください)。つまり、実際の造林地では、下刈りの省略によって、初期保育を省力化しながら一斉人工林が成林したり、自然に混交林化したりするものではないようです。

当所では引き続き、混交林や低コスト再造林に適した技術手法を調査研究していきたいと思えます。

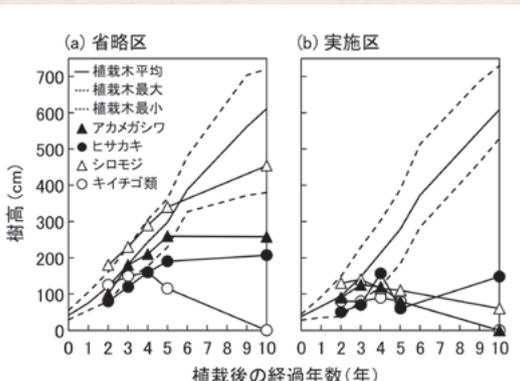


図2 植栽木と主な更新木の最大樹高の推移

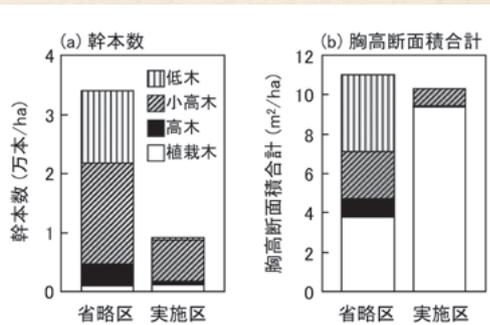


図1 10年目における植栽木と更新木の幹数と胸高断面積合計

詳しい内容を知りたい方は
TEL 0575-333-2585

森林研究所まで

郡上市立大和小学校 普通教室棟

郡上市大和町剣1085-1



施設全景

施設の概要

事業年度	令和4・5年度
事業主体	郡上市
構造 延床面積	鉄筋コンクリート造3階建て 2,284㎡
施設用途	教育施設
木材使用量 使用樹種	41㎡(県産材使用量41㎡) ヒノキ、スギ
全体事業費	939,772千円
助成額	15,000千円 (木の香る快適な公共施設等整備事業)
設計者	(株)川上建築事務所 郡上事務所
施工業者	(株)ヤマシタ工務店(建築本体工事)
工期	令和4年9月～令和6年2月



廊下

多目的室



施設の経緯

令和6年4月に郡上市大和町の小学校4校(大和西小学校、大和南小学校、大和北小学校、大和第一北小学校)が統合し、「郡上市立大和小学校」が開校しました。全学年2学級の編制で300名強の児童数となり、郡上市内で最大規模の小学校となります。

令和6年2月に完成した新たな普通教室棟は、学校周辺に広がる田園風景に合う外観とし、内装は県産材を多く活用した木質化を施すことで、木の香の香る、木のぬくもりのある学校施設となりました。

普通教室



階段室

ここに注目!!

施設で主に使用される普通教室、廊下、多目的室等の床と壁を中心に県産材(ヒノキ材、スギ材)をふんだんに使用しており、入った瞬間に木の香りやぬくもりが実感できるほど、木にあふれたしつらえになりました。

利用者の様子

広く落ち着いた空間で、児童は心地よく伸び伸びと学校生活を送っています。

■問い合わせ先
郡上市教育委員会 教育総務課
TEL 0575-67-1123

いわのだこどもの森（岩野田保育園）

岐阜市三田洞東1-18-8



施設全景

● 施設の概要

事業年度	令和5年度
事業主体	社会福祉法人 堂角舎
構造 延床面積	鉄骨造 2階建て 925.42㎡
施設用途	保育所
木材使用量 使用樹種	県産材使用量 15.3009㎡ スギ
全体事業費	465,390千円
助成額	5,820千円 (木の香る快適な公共施設等整備事業)
設計者	株式会社山岡哲哉建築設計事務所
施工業者	株式会社高垣組 岐阜支店
工期	令和5年2月から令和5年11月



● 施設の経緯

令和4年4月、岐阜市立岩野田保育所から民営化し岩野田保育園となりました。

それと同時に老朽化していた園舎の新築に向けた検討をスタートし、令和5年11月に新園舎が完成しました。新園舎は、木のぬくもりを感じられるよう、岐阜県産材による内装木質化や県産材で作られた家具を採用しました。



● ここに注目!!

園舎はもちろん、遊戯や家具に至るまで、木のぬくもりに包まれる環境づくりにこだわっています。

● 利用者の様子

まず「温かい！」そして「いい香り！」と驚かれます。子ども達も新園舎が落ち着くようで、以前にも増してのびのびと生活してくれています。

■問い合わせ先
社会福祉法人堂角舎
TEL 058-237-3822

捨てないで良心まで！ 今年も国有林クリーン活動実施

岐阜県内の3つの森林管理署では、各署の職員に加え、地元自治体、名古屋林業土木協会、名古屋造林素材生産事業協会等の会員、関係ボランティア団体などにご参加いただき、今年度も「国有林ゴミゼロ運動」を実施しましたので報告します。

【岐阜森林管理署】

「ゴミゼロの日」の5月30日、岐阜森林管理署では、「国有林野ゴミゼロ運動」として金華山ドライブウェイの清掃活動を行いました。

当日は好天に恵まれ、岐阜市をはじめ関係事業体や地域のボランティア団体など61名が参加しました。

金華山は岐阜城やロープウェイなどが整備されるとともにツブラジイやアラカシなどの照葉樹林に覆われた豊かな自然が残っており、周辺にはドライブウェイやハイキングコースが整備され、市民の森として多くの人に親しまれています。

当日は参加者が4グループに分かれ、金華山ドライブウェイの入り口



クリーン活動へ出発！

から展望台、岩戸公園までの約5キロメートルの道路沿いに捨てられた空き缶、ペットボトルなどを歩きながら拾い集め、約1時間半で軽トラック2台分のゴミを集めました。

岐阜署では、引き続き金華山国有林等の美化活動に取り組んでいきたいと考えています。また、今後国有林で多くの人たちが気持ちよく過ごせるよう山を訪れた際にはごみを持ち帰っていただくよう啓発活動に取り組んでいきたいと考えています。

【飛騨森林管理署】

5月30日、昨年度に引き続き高山市清見町に所在する彦谷国有林と隣接する県道90号線（別名・飛騨卯の花街道と上小鳥国有林及び隣接する国道158号線の2箇所においてクリーン活動（ゴミ拾い）を実施しました。

当日は天候にも恵まれ、少し汗ばむくらいの陽気のなか、当署の職員に加え、名古屋林業土木協会及び名古屋造林素材生産事業協会の会員など46名が参加し午前10時頃より1時間半ほどの作業に汗を流しました。

彦谷国有林内の林道は北アルプスなど360度の眺望が楽しめる猪臥山へつながる登山ルートとなっており、季節を問わず入林者がいることや、この林道に並行して通過する県道90号線は東海北陸道飛騨清見インターから飛騨市へ抜けるバイパス的な役割を持つていることから山間地にも関わらず交通量が多く、缶ジュースやペットボトル飲料の空、キャンディーの包み紙などがいたるところに落ちていましたが参加者で協力し回収していただきました。

上小鳥国有林に接する国道158号線は高山市街地から白川郷や郡上市へ至る主要道でこちらも交通量が多いことからポイ捨てゴミが多いのではないかと思われましたが、待避

所付近には物干しピンチや衣類用洗剤など明らかに家庭から出るようなゴミが捨てられており、参加者はそのゴミに呆れながらも丁寧に回収いただきました。



県道及び林道沿いで活動する様子

両箇所とも見通しがよい道路沿いで速度を出して通過する車両が多くいるなかでの作業でしたが怪我等もなくほぼ予定どおりに作業を終えました。

回収されたゴミは職員で分別を行ったあと軽トラックで高山市内の資源リサイクルセンターに運び込みました。計測されたゴミは約50kgで量的には昨年度より若干少ない結果となりましたが、粗大ごみが回収された昨年度と違い一般ごみ中心でこられただけの量が回収されたことは捨てられたゴミが減っていないことを物語っている結果といえます。



回収したゴミの一部

新型コロナ収束後、古い街並みや白川郷などの観光地がある飛騨地域も訪日外国人など観光で訪れる方が増えていることから、観光地だけでなく車窓から見える景色でもゴミゼロを実現できるように今後も継続した活動を実施していきたいと思えます。

【東濃森林管理署】

東濃森林管理署では、6月13日、管内の白川付知林道沿線において恒例のゴミ0運動を付知峡にゆかりのある方々総勢48名の協力を得て開催しました。

白川付知林道は、付知峡沿線を走る林道で、多くの観光客が訪れる景勝地ですが、マナーも良く、例年ゴミ拾いより沿線の草刈りがメインになっていますが、今年度は、同林道から分岐する「王滝新道(注1)」の歩道整備も併せて行いました。

この王滝新道は、毎年秋には付知



王滝新道整備の様子

の小学生が森林教室の場として利用する場所で、落石等により歩きづらい箇所が随所にありました。梅雨入り前の暑い一日でしたが、参加者の皆さんのおかげで、今年も気持ちよく多くの方に来ていただける環境が整いました。

(注1)「王滝新道は付知町から王滝村までを結ぶ街道で、明治10年に完成したと言われています。

当時、岐阜県美濃地方方面か御嶽登山をする人々は、中山道木曾福島回りに比べて11里も近かったため多くの人が利用したほか、信州岡谷や諏訪の製糸工場へ出稼ぎに年間1万人以上が通った街道です(明治44年、中央線の開通に伴い次第に使われなくなりまし)

(岐阜・飛騨・東濃森林管理署)

100年の森林づくり計画(森林配置計画)について

森林配置計画とは、100年先の望ましい森林の配置を見直すため、気候や地形、法規制等の諸条件を踏まえたうえで、県内すべての民有林を以下4種類の将来目標区分に設定(森林配置)するものです。

- ①「木材生産林」(主たる目的が木材の生産である森林)
- ②「環境保全林」(水源涵養など公益的機能の高度な発揮を期待する森林)
- ③「観光景観林」(観光道路から眺望でき景観的価値が高い森林)
- ④「生活保全林」(集落や生活道路に隣接し住民生活を守るための森林)

将来目標区分は、県内民有林すべてを①・②のいずれかに設定したうえで、地域の特色や実情に合わせて、③・④を①・②に重複して設定しています。なお、設定は市町村ごとに開催される地域検討会において、合意形成を経たうえで行われます。

令和3年度末には①・②の設定率が100%となり、100年先の望ましい森林の姿が明確となりました。今後は、毎年度将来目標区分が

適切であるか見直すとともに、それぞれの区分にふさわしい森林づくりを促進していきます。

表 将来目標区分別の面積(令和5年度末時点)

将来目標区分	面積
①木材生産林	207,949ha
②環境保全林	476,106ha
合計(①+②)	684,055ha
③観光景観林	53,154ha
④生活保全林	22,041ha

※③、④は①または②に重複する。

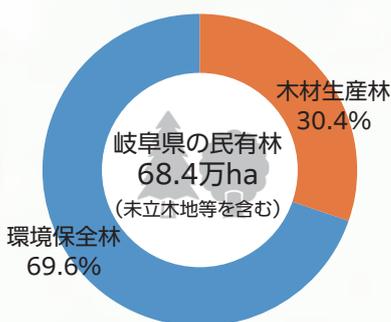


図 木材生産林と環境保全林の設定割合(令和5年度末時点)

TEL 058-272-1111 内線(431)
「林政課」●詳しい内容を知りたい方は森林計画係まで



西濃地域における林業普及活動

■西濃農林事務所
林業普及指導員

兼定喜寿郎



西濃農林事務所管内は、岐阜県の西南部に位置する大垣市を中心に2市6町からなり、濃尾平野の平坦部と伊吹養老山地に大別されます。また、管内市町のうち、森林を有するのは2市3町（大垣市・海津市・関ヶ原町・垂井町・養老町）（以下関係市町）であり、管内の森林率は41%と県平均の81%に比べ半分となっています。

民有林の森林面積は、約2万3千ha、所有形態は公有林が10%、森林研究整備機構・会社・公社が併せて10%と低く、個人有林が60%と大半を占めています。

齢級別の人工林面積は、7〜9齢級と11〜13齢級にピークがあり、15齢級以上の高齢級の森林は30%と県平均16%の約2倍で高齢級の割合が高い齢級構成になっています。

このような齢級構成から管内では、主伐・再造林や、間伐等の計画的な実施が急務となっています。管内の林業事業体は西南濃森林組合（以下森林組合）が主力であり、県の補助事業等を活用し主伐・再造林、間伐や作業道整備など森林経営計画に基づき実施しています。

また、健全で豊かな森林づくりの推進にあたっては、森林経営管理制度の運用、森林環境譲与税の使途、市町村が主体となった間伐実施計画の作成など、関係市町への支援が必要です。

当管内では、西南濃森林経営管理推進協議会（以下協議会）という組織があり、森林整備の推進に取り組んでいます。農林事務所も協議会に出席し、森林整備の推進について助言等を行っていますので紹介します。

西南濃森林経営管理推進協議会の取り組み

●目的 この協議会は、森林組合を構成する関係市町が林業経営の効率化及び森林の管理の適正化の一体的な促進を図るために、必要な事業を企画し、協働して事業を実施することにより、持続可能な地域づくりに寄与することを目的としています。

協議会設立の経緯は、森林環境譲与税が創設された平成31年度に、取り組みを進めつつも市町も手探り状態であることから、年に数回関係市町の担当者を集めて会議を行いました。担当者会議では、関係市町の取り組み状況などの情報収集や意見交換を行うことにより、交流を深め日頃から市町の担当職員と林業普及指導員が気軽に相談できる関係になりました。ちなみに関係市町の職員は、森林組合の支所の担当も兼ねています。

●組織 協議会会員は、関係市町の長をもって組織し、幹事は関係市町の林務担当課長、オブザーバーとして農林事務所の林業課長がメンバーとなっています。事業活動等を行う

前には担当者会議が開催され、令和5年度は5回開催（林業普及指導員もオブザーバーとして支援しています）。



担当者会議の様子

●これまでの主な活動内容

- ①担当者会議の開催
 - ・事業計画の内容が、森林整備の推進に繋がるか協議しました。
 - ・森林組合への譲与税を活用した各種助成について検討しました。
 - ②森林組合担い手育成施設への支援
 - ・担い手育成施設整備へ助成しました。

（施設の活用状況）

- ・担い手育成施設では安全ミートイニングやチェーンソー、刈払い機の目立て研修等を昨年度は4回開催しました。
- ・施設の一部を利用し、測量機材や各種道具を保管しています。
- ③高性能林業機械導入への支援、現地研修
 - ・森林組合が高性能林業機械を県の

補助事業で購入する予定なので、補助金の助成について検討しました。

● 高性能林業機械で間伐を実施している現場（大垣市上石津町）の視察研修をしました。



担い手育成施設での研修



高性能林業機械の視察

- ④ 市町村が主体となった間伐実施計画の作成支援
- 関係市町村が計画書の家など関係資料を持ち寄り情報交換しながら作成しました。
 - 協議会の取り組みの成果
 - 森林環境譲与税の用途について、

補助事業での負担金（嵩上げ）の関係市町調整や、事業者提案等周知できました。

- 森林組合から県や市町に対してどのような支援が必要か、他の補助も含めて何が不足か明確になりました。
- 各市町の林務担当者が現場にて高性能林業機械を視察したことにより、機械の必要性、補助金の予算化・財政等への説明をする際に役立つとのことでした。

今後の取り組み

令和6年から森林環境税の徴収が始まり、森林環境譲与税の使途と効果がより一層注目されます。譲与税の有効かつ適正な執行に向けて、今後も協議会で議論していく必要があります。

また、森林経営管理制度の意向調査の結果については、市町から森林組合へ情報提供されていますが、この仕組みに課題等ないか検証し、支援をしていきたいと思えます。

特に市町においては、職務が林業だけでなく鳥獣害対策や農務もあるなど幅広い業務をこなさなければならぬため、農林事務所としても継続的に支援していきたいと思えます。

● 詳しい内容を知りたい方は
TEL 0584-773-1111

西濃農林事務所まで

スマート林業通信 ④

大型運搬用ドローンの紹介

近年、運搬用ドローンが各社から販売されており、林業の現場においても導入が進んでいます。

こうした中、DJI社製EMCArt30の見学会を開催しましたので、その内容をお知らせします。

EMCArt30は、今年から日本でも販売が始まった大型の運搬用ドローンです。

機体の大きさは、2800mm×3085mm×947mm。性能は、バッテリー2個搭載時で、最大積載量30kg、最大航続距離16km、最大飛行時間18分となっています。

まずは、4月23日に美濃市のドローンミュージアム&パークみのおいに見学会を行いました。

使用した機材は、(株)EBOONが岐阜県内で初めて導入したものです。全国的には、まだ台数が少ない中、いち早く県内の林業関係者に見ていただきたいと開催しました。

当日は、あいにくの雨天でしたが、約10kgの荷物を問題なく運ぶことができました。

また、5月29日には、(株)東海スカイテック(三重県菟野町)の協力のもと、下呂市馬瀬の川上国有林において、資材(獣害防護柵)運搬の見学会を開催しました。

27kgの資材を、水平距離250m、高さ90mの地点まで3分足らずで運搬することができました。



近年の植栽地は、コンテナ苗や獣害防護資材など運ぶ資材量が多くなっていることから、運搬用ドローンの活用は、単にコスト面だけでなく、労働強度の軽減という点でも大きな利点があります。

自ら機材を購入して運用するには、事業規模等でのハードルは高くなると思いますが、運搬業務を他社に委託しての実施は、十分可能であると考えます。

岐阜県では、業務委託への補助制度もありますので、是非、取り組みを検討してはいかがでしょうか。

※見学会の様子をYoutubeで公開していますので是非ご覧ください。



4.23 美濃市



5.29 下呂市

● 詳しい内容を知りたい方は
TEL 05975-1351-2535

森林文化アカデミー
スマート林業推進係まで

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場所
			申込(問合せ)先/TEL
9月3日(火)	刈払機取扱作業 安全衛生教育	<ul style="list-style-type: none"> ●講習時間：学科 9:20~15:40 実技 15:50~16:50 ●申 込：開催日の10日前まで ●受講料：11,550円(本代含む)(振込み) ●定 員：50名(定員になり次第締め切ります。) 	南ひだ森林組合(下呂市乗政 25-1) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
9月4日(水)~ 9月6日(金)	伐木等の業務(チェーンソー) に係る特別教育	<ul style="list-style-type: none"> ●講習時間：4日 学 科 9:20~17:40 5日 学・実 8:50~12:00 6日 実 技 8:30~17:40 ●申 込：開催日の10日前まで ●受講料：23,870円(本代含む)(振込み) ●定 員：50名(定員になり次第締め切ります。) 	4日(学科)5日(学・実) 南ひだ森林組合(下呂市乗政 25-1) 6日(実技) 南ひだ森林組合貯木場(下呂市乗政 25-1) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
9月19日(木)	造林作業の指揮者等 安全衛生教育	<ul style="list-style-type: none"> ●講習時間：8:50~16:50 ●申 込：開催日の20日前まで ●受講料：11,200円(本代含む)(振込み) ●定 員：30名(定員になり次第締め切ります。) 	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
9月26日(木)	作業計画作成のための 安全衛生教育	<ul style="list-style-type: none"> ●講習時間：9:00~16:30 ●申 込：開催日の20日前まで ●受講料：13,420円(本代含む)(振込み) ●定 員：30名(定員になり次第締め切ります。) 	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195



コラム

今年5月に大学の友人に誘われて「大垣祭り」の見学に行きました。私は生まれも育ちも大垣市ですが、大垣祭りに行ったのは、中学生の頃が最後と記憶しており、実に15年以上ぶりとなりました。

大垣祭りは、平成28年12月にユネスコ無形文化遺産に登録されており、370年余の伝統があります。全13両の車山(やま)が城下町を巡行したり、大垣八幡神社の御前で芸を披露したりします。大垣駅周辺で行われているということもあり、多くの観光客が訪れます。

私は土曜日の夜に見学に行きました。昔よりも多く感じる観光客にはやや気後れしましたが、提灯で飾られた車山と屋台の電飾が宵闇を照らす様やお化け屋敷の威勢の良い呼び込みは、子どもの頃から変わらない風景で、郷愁に駆られました。子どもの頃は車山よりも屋台巡りに楽しみを見出していましたが、大人になると屋台だけでなく、祭りの雰囲気そのものを味わっていることに気づくことが出来ました。大人になったあと感じながら飲むお酒は大変美味しかったです。地元の伝統は大切にしていきたいですね。

「森林のたより編集委員」 林政課 山田 純司

イベント情報

9月1日発行

連載

- 山の歳時記(229)
- 山のおじゃまむし(397)

地域の人

清流と森と親しむ

- 森林と人を活かす知恵(140)

木と親しむ

- 岐阜県の公共木造建築(139)

清流の国ぎふ森林・環境税

森林・林業技術

- 研究・普及コーナー

市況情報

その他

9月号
予定

木材市場

木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所
単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	気配	
第1858回 岐阜共販所	すぎ	3m	16~18cm	14,600	—	→	
			16~18cm	14,000	—	→	
		4m	20~22cm	15,000	—	→	
			24~28cm	15,000	—	→	
			30cm以上	13,000	18,400	→	
	6m	16~20cm	18,000	—	→		
		ひのき	3m	16~18cm	20,900	—	↘
	20cm以上	18,800		—	↘		
	7月9日	4m	16~22cm	20,700	—	↘	
			24~28cm	19,000	—	↘	
			30cm以上	18,900	22,000	→	
		6m	16~18cm	—	—	→	
すぎ			3m	16~22cm	14,500	—	↘
4m	24~28cm	14,800		—	↘		
	30cm以上	12,000	—	↘			
	ひのき	3m	16~18cm	21,000	—	↘	
20~22cm			20,300	—	↘		
24~28cm			19,100	—	↘		
4m		30cm以上	19,000	43,900	→		
		6m	16~20cm	25,000	—	→	
		ひめこ	4m	24~28cm	12,000	—	↘
30~38cm	12,000	15,000		↘			
7月10日	5m	40cm以上	—	—	↘		
		くり	4m	24cm以上	15,000	—	→
第1784回 東濃共販所	すぎ	3m	16~22cm	14,300	—	→	
			24~28cm	14,800	—	→	
		30cm以上元	15,000	—	→		
	ひのき	3m	16~22cm	20,500	—	→	
			24~28cm	19,000	—	→	
			30cm以上元	25,000	58,000	→	
		4m	13cm以下	10,000	—	→	
			24~28cm	19,300	—	→	
			30cm以上元	26,000	111,000	→	
			6m	18~22cm	29,500	—	→
	7月4日	まつ	4m	22~28cm梁	—	—	→
				30cm以上元	11,000	—	→

※単価は直材価格、但し平均値は並材二番玉価格。気配は、前回事との比較。

【商況】

スギ4m元木、尺上良材は入札多数で価格は保合。スギラミナ向け3m・4m材は保合。ヒノキ良材4mは入札旺盛で活気あり、価格は保合。ヒノキ3m・4mの構造材についても価格は保合で推移。合板向けは、引き続き住宅着工などの伸び悩みにより製品の荷動きが鈍く弱基調。製紙向けパルプ材、発電向け未利用材ともに原木不足感が強く需要高。(岐阜)

スギやヒノキ並材は横ばいで推移。広葉樹良材は高値で推移しているが並材は横ばい。高値はマクルミ2.1m×36cm@38,300円、ナラ2.1m×34cm@36,000円、クリ2.1m×40cm@34,600円、ホウ2.2m×36cm@32,800円、サクラ2.1m×32cm@30,800円。(飛騨)

ヒノキ役物良材には応札多数であるが、当用買い中心で価格は伸び悩み。3m柱向け(14cm~26cm)は価格は保合。4m中目、土台向けも引き合いはあるが保合。スギ中目、尺上、元木良材は、価格保合で推移。目荒等並材は価格伸び悩み売りづらは継続。4m(24cm以上)構造材も保合で推移。3m構造材向けも保合継続。スギ6m長柱向け(18cm~22cm)は各方面から要望があり造材をご検討下さい。合板向けは、住宅着工の伸び悩みによる製品荷動きが鈍く弱基調。ラミナ向けは、スギ、ヒノキともに活発な動きあり。(東濃)

製品卸売標準価格 (6月期)

単位:円

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m ³ 当り 価格	(本(枚)単価)	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	68,000	(2,249)	→
	間柱	3000	105	30	1等	70,000	(662)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	78,000	(3,440)	→
	柱	3000	120	120	特等	73,000	(3,154)	→
6000		120	120	特等	150,000	(12,960)	→	
W 集 成 ウ ッ ド 材	柱	3000	105	105	国産5層	91,000	(3,000)	→
		3000	120	120	国産5層	98,000	(4,200)	→

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

外材市況 (6月期)

単位:100円(1㎡当たり)

樹種	規格	価格	前月比較
米松	SSタイプ	396	→
	コースト(目荒)	428	→
米栂	ヘム(アラスカ産)	468	→
米ひば	ポール	—	—

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)

これってなあに? ~木材用語~

モルダー・プレーナー

モルダーは板や角材の面を多軸で同時にかな掛けする機械。プレーナーは単に材の表面をかな掛けする機械。

(参考)日刊木材新聞社 木材・建材用語辞典

岐阜県には山は いくつあるのだろうか？

2

ある旅行社によれば、アウトドアブームや健康志向の高まりなどにより、昨年夏以降ハイキング・登山の旅行者が好調で、コロナ禍前の1.8倍に増えたという。山の多い本県、登山ブーム再来や県が進める森林サービス産業の育成が山村の活性化に繋がればいいですね。秋に開催される「ぎふ森フェス」は、その魅力をさらに加速化させているイベントとして大いに期待しているところです。

ところで、前記の如く四方八方から家の前方の山は「前の山」、後方の山は「裏の山」、離れた所の山は、例えば「小日屋（地元の名）の山」と呼び、名を呼んでいたのは最近登山で人気のある「相戸岳」だけでした。これ私だけなんでしょうか。

それでは、名の付くものはどんな山、どうやって付けられたのか？

調べると諸説ある。当然といえば

そうですが移動の際の目印とするため付けられたとの説が大勢。このため、「丸山」や「舟伏山」のように山の形や地形、色、連なる山の数などを由来とするもの、この他に方角を示すもの、生息する植物や動物、民話や伝説、信仰などを由来とするものが多い。

一方、名の末尾はその山の特徴を表しており、「池田山」のように「山」で終わるものは、比較的なだらかな山。先ほどの「相戸岳」のように「岳」で終わるものは高く険しい山。「金華山」の北側にある「百々ヶ峰」の

山・岳・峰が付かない例

天狗城（山県市）
タイボ（揖斐川町）
鎗ヶ先（揖斐川町）
西ヶ平（郡上市）
ククロク天井（中津川市・恵那市）
浦田富士（高山市）
クリノヤ頭（高山市）
大木場ノ辻（高山市）

ように「峰」の付くものは突然突き出た形の山に多いそう。
なお、これらの文字が付かない山も幾つかある。

さて、本題の岐阜県には山がいくつあるか？

森林法による「森林」の規定や、登記上の地目「山林」はエリアを判別する根拠となるが、そもそも個々の山と判別する決めはあるのか。「山」を辞書で調べると、「周りにくらべて高くもろあがった土地」と曖昧な表現。そこで、まず県林政部にお尋ねすると、分からないとのこと。次に地図を作成している国土地理院にお聞きすると、ここでも「山の定義はしてない」の回答。つまり、標高や傾斜、樹木の有無といった基準はないようだ。それでは、どういった基準で名を地図に載せるのかを聞けば、「市町村から掲載申請のあった山で、現地で周りより高いことや、地域にその名が根ざしていることを確認したものを掲載している。」とのことでした。

ということで、結論は分からないです。なお、唯一山の数を提示しているものとして、地図に名が登載された山を拾い上げた書籍「日本山名総覧（竹内正著―平成11年発行）」

の存在を知り早速調べると、全国には約18,000山あり、内本県は379山でした。（県境の山は最初に掲載された都府県にカウントされるため、もう少し多くなる。）



余談ですが、「山からおはよう」で始まるNHK土曜朝のラジオ番組「石丸謙二郎の山カフェ」は高い山の話が多く、いわゆる「登山」という感じであるが、同じNHKでも酒場詩人の吉田類が全国の山を登り、その魅力を紹介する番組「につぼん百低山」は、その名の如く基本低山が対象で私には取っ付きやすい。先ほどの総覧によれば本県には「金華山」くらいの標高の山は80以上あり、その魅力を知らない山も沢山あるだろう。まずはこの内最も低い各務原市の石山（標高50m）に行ってみます。

山林協会 高井